

消費税増税の中止 くらしに希望を

三つの 提案



共産党・志位委員長が政策発表

日本共産党の志位和夫委員長は5月22日、参院選政策の第1弾として「消費税増税の中止 くらしに希望を一三つの提案 家計を応援し、貧困と格差をただし、明日に希望が持てる政治を」を発表しました(左写真)。

消費税3%減税と同じ経済効果

政策の柱は、右表の通り。一つひとつの政策提案の内容を説明したうえで志位氏は、「『三つの提案』をパッケージで実行するために必要な財源は7・5兆円。7・5兆円規模で暮らし応援の政策を実行することは、消費税を3%減税するのと同じ経済効果があります」と強調しました。また「三つの提案」について「かなりの部分で野党は共有できるのではないかと思います。そういう話し合いは引き続きやっていきたい」と述べました。

希望を前面に語る努力を強めたい

志位氏は「安倍政権に対する不信、怒りはたくさんあると思うが、同時に“政治は変わらないんじゃないか”という気持ちもあると思う。それだけに多くの国民のみなさんの願いを実現する道はここにあるという希望を前面に語るように心がけています」と述べました。

政策の柱

- 消費税10%への増税を中止する
- くらしに希望を一三つの提案
 - (1) 8時間働けばふつうにくらせる社会を一賃上げと労働時間の短縮で
 - (2) くらしを支える社会保障を
 - (3) お金の心配なく、学び、子育てができる社会を
- 7・5兆円の新たな財源で可能に「消費税に頼らない別の道」で

政策全文はHPで→



痛みにより、
声をとどける。



くらしの願い実現に全力!!

参議院議員(東京選挙区選出)

吉良よし子

プロフィール●1982年高知県生まれ、高知県追手前高校、早稲田大学第一文学部卒。2013年東京選挙区から初当選。現在、文教科学委員、決算委員、憲法審査会委員。日本共産党中央委員、書記局員。家族は夫と息子。趣味は読書、映画鑑賞、観劇など。

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2019年5月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党